

## インドネシア

### 僻地ディーゼル発電事業（84年度）



本事業により設置されたディーゼル発電機

#### [ 借款概要 ]

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 9,000百万円 / 8,359百万円 |
| 借款契約調印  | 1985年2月             |
| 借款契約条件  | 金利3.5%、返済30年（据置10年） |
| 貸付完了    | 1992年12月            |

#### [ 事業概要 ]

インドネシアのジャワ・バリ島以外の地域における中心的な地方都市にディーゼル発電所を建設し、電力供給を改善するもの。

#### [ 評価結果 ]

本事業によりジャワ・バリ島以外の地域20都市に29基のディーゼル発電設備（合計設備容量99MW）が建設された。これらの地域には大型発電所と送電線網がなく、本事業は各都市に独立した電力システムを整備することにより、周辺地域の電化促進や農産物加工等の小企業向け電力供給の改善に寄与したものと評価される。

本評価において現況が確認された28基の発電機（東チモール・ディリの1基を除く）は、1987年から92年の間に製造・据付が行われ、既に10年以上経過している。このため、現在も稼働しているのは20基、利用可能な設備容量は約52MWとなっている。他の8基のうち5基は故障等により停止中、また、3基は解体されて他の発電所の部品として有効利用されている。

発電所の運営・維持管理については、国営電力公社（PLN）の財政悪化により、定期的なオーバーホールが行えず、スペアパーツ不足により故障時の修理に長期間を要するという問題がある。今後とも適正な電力料金の値上げを含め、PLNの経営改善を図ることが課題である。